

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	基礎数学演習第二		
英文授業科目名	Elementary Exercise in Mathematics ?		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	濱野 哲子		
居室	C棟403		

公開E-Mail	授業関連Webページ
thamano@fedu.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
(a) 主題：全学科1年次の必修科目、微分積分学第二と線形代数学第二のための留学生支援科目である。 (b) 達成瀬目標：日本語で行なわれる講義を十分理解することができ、日本語で書かれたテキストを容易に読むことができる。

【前もって履修しておくべき科目】
前学期の各数学科目

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
基礎数学演習第一

【教科書等】
学科の数学講義の教科書・演習書等

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】
(a) 授業内容 I. 微分積分学 1 偏微分 2 重積分 3 微分方程式 II. 線形代数 1 ベクトル空間 2 固有値と固有ベクトル 3 線形写像 (b) 授業の進め方：テキストの音読、用語と内容の説明、演習を中心に、理解の程度を確認しながら授業を進める。この授業のための予習、復習は必要としない。演習問題の解法解説のためWebclassを活用する。
【授業時間外の学習（予習・復習等）】
必要に応じて、補講を行う。
【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】
(a) 評価方法：授業中に行なう演習と期末試験の結果を、次のように総合評価する。 成績評価 = (50% × 演習) + (50% × 期末試験) (b) 評価基準：以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。 (1) 概念を理解している。 (2) テキストの演習問題を解くことができる。
【オフィスアワー：授業相談】
適宜相談に応じるが、事前にアポイントを取ることが望ましい。また、理解できない点がでてきた時点で質問・相談することを望む。
【学生へのメッセージ】
日本語でおこなわれる授業になれるまで、8ヵ月かかるといわれています。だんだんなれてきたと思いますが、あせらずに勉強しましょう。
【その他】
なし